

前名誉会長 小久保正路先生の ご冥福をお祈り申し上げます



令和8年5月9日 ご逝去(享年96歳)

流山市剣道連盟 前名誉会長・小久保正路先生の訃報に接し、謹んで哀悼の意を表します。

先生は連盟結成以前より新井守太郎先生のもとで流山町体育協会剣道部の運営に奔走され、昭和45年5月に流山市剣道連盟が産声を上げると同時に連盟理事長に就任され、理事長職を20年にわたりお務めになり、組織の礎を築いてくださいました。

平成4年3月には、急逝された吉池繁喜先生の後任として第三代の流山市剣道連盟会長に就任され、連盟運営の陣頭指揮をとられ、今日の流剣連に成長するため絶大なご尽力を頂きました。千葉県剣道連盟の常任理事としてもその手腕を発揮され、地元流山にとどまらず千葉県剣道の発展に寄与されたことは言を俟ちません。

このように長年にわたり流山市、そして千葉県の剣道普及に多大な貢献をされたことで平成21年には全日本剣道連盟より有功賞を受賞されましたことは、私どもとしても喜ばしい限りであります。

連盟運営を後進に譲り、一線を退かれた後も常に連盟の発展にお気遣いを頂き、様々なご助言を頂戴しておりましたが、居を流山から茨城県石岡市へ移られてからはお目にかかる機会も少なくなり、寂しく感じておりました。

年初にお電話でお話した折にはお元気な声を耳にして、健やかにお過ごしのこととお思っておりましたが、5月に突然の訃報に接し、誠に残念でなりませんでした。

私共は小久保先生の意志を継ぎ、流山市剣道連盟が益々発展成長していくよう、会員一同協力して邁進して参りたいと思います。

先生のご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉とさせていただきます。

小久保先生を偲んで

小久保先生のご逝去に接し、深い悲しみとともに、心から哀悼の意を表します。

先生は流山市剣道連盟東支部の創設者として支部の礎を築かれ、長年にわたり多くの子どもたちに剣道を通じて、礼儀や思いやり、努力する心、人として大切な生き方を教えてくださいました。その教えは数え切れない教え子たちの心に深く刻まれ、今もなお受け継がれています。

私たちは先生が築き上げてこられた東支部の歴史と伝統を守り、その思いを次の世代へつないでいく責任があります。子どもたちが安心して剣道に励み、人として成長できる環境を守り続けること、そして先生が大切にされた礼節と感謝の心を忘れずに歩んでいくことが、私たちにできる何よりの恩返しではないでしょうか。

小久保先生、本当にありがとうございました。先生が残してくださいました教えと東支部の精神は、これからも私たち一人ひとりの心の中で生き続けます。どうか安らかに眠りください。

流山市剣道連盟 東支部
支部長 大久保将俊

先生は最後まで流山市剣道連盟を気に掛けられ、折に触れて温かい助言をくださいました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

東支部一同

小久保 正路 先生 ご功績

— 流山市剣道連盟 前名誉会長 —

流山市剣道連盟の発展に長年にわたり尽力し、副会長・理事長、第3代会長を歴任、のちに名誉会長を務められました。以下に主な役職・表彰・競技成績をまとめます。

役職の変遷

昭和45年 5月	流山市剣道連盟 結成に伴い理事長に就任
昭和63年 5月	流山市剣道連盟 副会長
平成4年 3月	流剣連 臨時総会において第3代会長に就任
平成17年 5月	名誉会長に就任 (第4代会長・大河原浩先生への引き継ぎに伴う)

表 彰

昭和58年 2月	千葉県教育委員会 千葉県地方体育振興功労賞 受賞
昭和59年度	千葉県剣道連盟表彰 剣道功労者
昭和61年 9月	千葉県体育協会 スポーツ功労賞 受賞
平成14年 11月	全日本剣道連盟より感謝状を受ける
平成20年 2月	流山市体育協会50周年記念式典において 剣道部功労賞を受賞
平成21年 11月	全日本剣道連盟「剣道有功賞」受賞

競技成績(賞状より)

昭和39年 11月3日	昭和39年度 流山町文化祭剣道大会 優勝 (会長・流山町長 田中芳夫)
昭和40年 10月7日	昭和40年度 文化祭体育大会 剣道の部 優勝 (流山町長 田中芳夫)

出典・注記

- ・本略歴は、流山市剣道連盟記念誌(平成24年)の役員名簿・年表・各種功労者一覧、平成22年5月10日「流剣」広報、および賞状(昭和39年・40年)を出典とする。
- ・全日本剣道連盟の賞は、原資料に「有効賞」と「有功賞」の表記ゆれがあるが、正式名称の「剣道有功賞」に統一した。

合掌

